

問 全国学力調査結果報告は

答 学校別公表は行わない



田中榮一議員

【総合教育会議と教育委員会について】

問 小学校6年生・中学3年生を対象に実施された、平成27年度の全国学力・学習状況調査結果報告は村民に開示されるのか。

教員 昨年、市町村でも学校別改正されたが、教育委員会でも度も検討を行い、学校別公表は行わず村単位で行うこととし、数値ではなく言葉での表現とし、村のホームページで公表しています。

問 地方教育行政法が4月改正施行され、村長と教育委員会が教育方針などを話し合う「総合教育会議」が開催されているが、その内容は。

村長 会議では設置要綱と教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連絡強化を図るなど、総合教育会議の概要の確認と、昨年8月に制定してあります。白馬村教育基本目標及び教育基本方針を教育大綱とすることを全員意義なく決定しました。

村長 会議では設置要綱と教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連絡強化を図るなど、総合教育会議の概要の確認と、昨年8月に制定してあります。白馬村教育基本目標及び教育基本方針を教育大綱とすることを全員意義なく決定しました。

【村長2年目のスタートについて】

問 1年を振り返り今の思いは。

村長 公約実現に向けて、明るく元気な村づくりに取り組む矢先に、予想もしなかった大災害が発生し震災対応に明け暮れた1年でありました。

暮れた1年でありました。

問 観光・農業等の産業にどう取り組んだのか。

村長 観光面では、WiFi環境の整備や山小屋トイレの改修に着手など、滞在環境整備に取り組みました。農業面では、「白馬ブランド」確立という目標に向けて、白馬産の農産物を、ふるさと納税の返礼品として積極的に取り入れるなど、一定の成果が上がったと思っています。一日も早い復旧が何よりの産業振興に結びつくとの思いで、日々まい進しています。

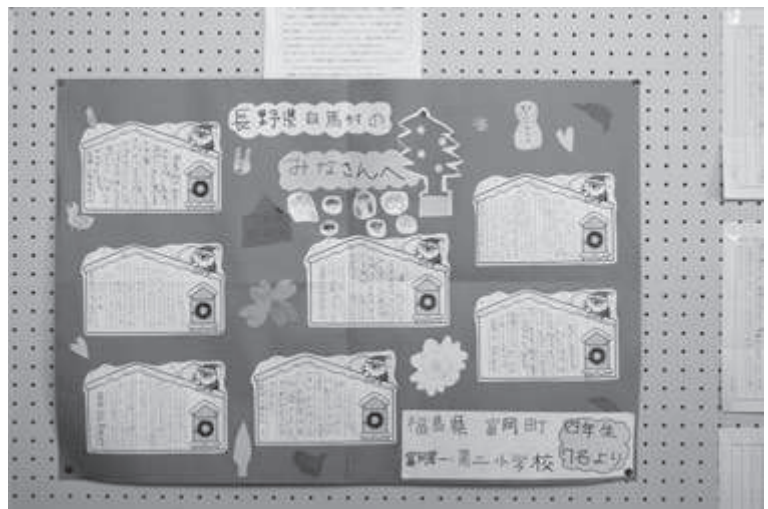
【神城断層地震を経験して】

問 全国の皆さんから見舞金・義援金・励ましのお言葉をいただいている。村民ホールに展示してある、東日本震災被災者でもあり、今もなお

避難生活をしている福島県富岡小学校児童の皆さんからの手紙には涙が出る思いである。現在被災者と共に復旧復興に向けて頑張っているが、いただいた善意に何らかの形で表していくことが村としての姿だと思いが。

村長 村民一丸となってこの村を早期復興させること

が、これまでご支援いただいた全国の皆様への恩返しであると思えます。日々全国の皆様への感謝の気持ちを忘れることなく、いつの日か何らかの形で恩返しをしていかなければならないと肝に銘じて、被災者の生活再建、災害復旧に全身全霊を傾けて取り組んでいきます。



心あたたまるメッセージ